



ボールバルブ洗浄要領

弊社規定クラスAS (Level 3 相当)

型式コード : +CAS

1. 目的	ボールバルブ内部接液部のみの洗浄を主目的とする。
2. 対象製品	MHA 社製高圧ステンレスボールバルブ 耐圧・気密試験合格品。(検査成績書/ミルシート)
3. 洗浄要領 ゴムもしくはプラスチック手袋を着用して作業を行う。	3.1. ボールバルブを分解する。 3.2. 各パーツを弱アルカリ洗浄剤入り温水中に浸漬してナイロン系ブラシにて脱脂洗浄する。 3.3. 常温水にて洗浄剤を洗い流す。 3.4. 純水(RO 水)中にて超音波洗浄を行う。 3.5. 部品乾燥は、中空糸膜フィルタ(濾過精度 0.01 μ)を通した圧縮清浄空気にて行う。
4. 組立	4.1. 清浄な机上にて組立作業を行う。 4.2. バルブアダプターネジ部にはステンレス材のかじり防止剤 Krytox®(デュポン社製テフロン系潤滑剤)を少量塗布して組立てる。 4.3. 目視にて洗浄度検査を行う。 4.4. 紙製ウエスを 15 秒押し当て、油分・水分・異物がウエスに付かない物を合格とする。 4.5. 要求がある場合は、接液部のブラックライト検査を行う。ホコリ等は判定対象外とする。
5. 気密試験 ゴムもしくはプラスチック手袋を着用して作業を行う。	5.1. バルブ組立後、中空糸膜フィルタを通した圧縮清浄空気(0.6MPa)にて気密試験を行う。 圧力計にて 1 分間圧力が降下しないものを合格とする。 内部漏れ試験：バルブ閉止状態 外部漏れ試験：バルブ半開状態 試験後バルブは、中空糸膜フィルタ(濾過精度 0.01 μ)を通した圧縮清浄空気にて乾燥させる。 5.2. 目視にてバルブ内部の洗浄度検査を行う。油分・水分・異物の付着がない物を合格とする。
6. 表示	バルブ本体に“禁水品”のラベルを貼る。 型式コード“CAS”を刻印する。
7. 付属品の取付	付属部品を取り付ける場合は、付属品の本体をアルコール含浸綿にて表面の油分・水分・異物を除去する。 特別な洗浄は行わない。
8. 出荷方法	1 台毎に乾燥剤(シリカゲル)を同封したプラスチック袋に入れて密封する。

※バルブ洗浄後の漏れ試験、清浄度検査の成績書及びミルシートは、要求がある場合のみ提出する。

